



特別礼拝プログラム

今週のみことは

「聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。このことは、私たちが贖われて神のものとなされ、私の栄光がほめたたえられるためです。」
エペソ一・一四

司会者	渡邊貞雄師	奏楽者	渡邊頼子師
讃美新264	われ贖われて	一同	
主の祈り			
讃美新219	われを見出し	一同	
交読詩篇24	: 1 ~ 10	一同	
祈禱	(報告)	司会者	
証詞	古波津光子師 (川崎教会)		
聖書	エペソ 1 : 1 ~ 23	司会者	
説教	『私たちのゴール』	古波津保秀師	
献金新244	信ずる者は何びとも	中川彦市兄	
頌栄新63	父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祝禱			

受 = 幸子姉 / 操 = 小坂姉 / A = 中川姉 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2023年11月5日 VOL47-45 No. 2453 URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 川崎教会の古波津保秀先生ご夫妻と礼美姉に感謝します。礼拝後の愛餐会(昼食)にもお加わりください。
- ▼ 来聖日より組会(サー来る)再開です。10時から。テキストもあり。
- ▼ 中部教区CCPN誌(祈りのしおり)の11月号が出来ております。
- ▼ 11月7日(火)は「教役者会議」(ZOOM)、11月15日(水)は「COG合同祈禱会」(ZOOM)があります。
- ▼ 昨日の午後に、春日井栄光教会の

幸いな「献堂式」が持たれ感謝!

- ▼ 阿部和子先生(メキシコ宣教師)は、日本の奉仕を終えられて先週、無事にメキシコに到着されました。
- ▼ 先週の礼拝に、豊島様ご夫妻が礼拝に初めてご出席くださいました。



にれ はみ

2023年10月29日
聖日礼拝
ルカ18:1~8
『あきらめない祈り』
説教 渡邊貞雄 師



今日は「弟子たちに」(1)書かれた、不正な裁判官とやもめの祈りのたとえを見てみよう。

I、2つの立場

ここに悪者(裁判官)と弱者(やもめ)とが登場する。しかもこの裁判官は「不正な裁判官、神を恐れず、人をも人とも思わず」、訴えを取り上げもしなかった(2)。やもめのひっきりなしの訴えでようやく重い腰を上げた(5)。ここは「私の顔を叩き続ける」の意味で迷惑顔で渋々行動した。

正義と公義を代表する裁判官が、この世を荒廃させ、悲しみと混乱を助長させている姿は大きな嘆きである。ここに2つのれっきとした、立場の違う人たちを見ることができる。

II、2つの審判

主イエスは、この世の裁判官とやがてこの世に来られ、聖と義をもって正しく裁かれる神である裁判官がおられることを語る。この地上の生涯には、理不尽な裁判が横行しているが、それで終わりではない。

「ましてや神は」(7)とあるが、夜昼、神に叫び求める選民(信仰者)のために黙ってはおられない神がおられる。

「まして」とは、それ以上のことと言う強い言葉であり、神の審判は厳しくステージを上げて実行される。私たちはこの神からの希望と慰めを覚え、この世界のために祈り、しかも「いつでも祈るべきであり…」(1)、どんな時も失望せずに祈り訴える者でありたい。

III、2つの間で

主イエスの会話は、十字架に近づくにつれて暗く重く、弟子たちには不可解な内容に満ちていく(17:、ルカ20:参照)。目を覚ましているクリスチャンは、暗黒がたれこめるその時も、終末と再臨の間で理不尽な者がこの世を荒らし回るその時でも、やがてやって来るその時まで、「地上に信仰」(8)を輝かせる存在である。この「信仰」とは定冠詞があり、この世の終わりの近づくその時の「信仰」を暗示している。祈りを絶やさず、信仰を燃やすことが、いかに困難であるかとともにいかに大切なことかが語られている。

今の世紀ほど終末を感じる時は他にない。正しい裁判官である方の審判が遅くなることはない。いよいよ私たちは、この世の現状を祈りによって主に叫び訴える器となろう。



松阪教会
あの日あの時

(左) 旧会堂
2004. 1. 17撮影

(左下)
新会堂途中
2004. 7. 31撮影

(下)
新会堂屋根完成
2004. 7. 21撮影



◎11/1 (水) 祈禱会 ヤコブ1:19

渡邊師「聞くこと、語ること」

ヤコブはこのことに心せよと語る。過去を語る快感?にも要注意かも知れない。それを覚えつつも ①神学校入学前に、学院の先生とシェルホン先生を囲んで昼食が許された不思議さ。②頼子先生の入学の際に、願書取り寄せの依頼をうけた不思議。③修養会(葉山)で信仰の同世代の若者と出会い、献身に導かれた不思議さ等々を思い出し感謝している。

神様が困難に直面した私に今も「難しい問題だからあなたに持ってきたんじゃないか」、「それだけ時間をかけてもいいことなんじゃないか」と私に語りかけられる。これからはまず主の御声を聞いて、備えられた道を進んで行こう。



「今後の集会予定／教会情報」

- ◎11/8(水) 祈禱会(ZOOM) (PM7:00)
- ◎11/11(土) 清掃奉仕 (AM9:30)
- ◎11/12(日) 楽しい組会 (AM10:00)
- ◎11/12(日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆ 祈禱会(司)山口姉(説)頼子師

● 来週礼拝 ルカ18:15~17

● 主 題 「子どものように」

定期集会のご案内

- ◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45
- ◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00
- ◇ 早天祈禱会 (火土) 朝6:30~7:00
- ◇ 祈 禱 会 (水) 午後7:00~8:15

来週 の 奉 仕 者

- ◎ 礼拝司会 中川 兄
- ◎ 礼拝奏楽 頼子師
- ◎ 礼拝献金 山口姉
- ◎ 受 付 真理姉
- ▽ 教会学校 随 時
- ▽ ヤ ン グ 随 時
- ▽ さー来る① 当 日
- ▽ さー来る② 当 日
- ▽ さー来る③ 当 日
- ▽ 昼食当番 な し
- ▽ アッシャー 中西 兄
- ▽ S S 入力 中西 兄
- ▽ PPT操作 福田 姉

《《《 2023年 松阪教会スローガン「乗り越える！」(十)プラス》》》
 「ヨセフは実を結ぶ若枝…その枝は垣を越える」(創49・22)

礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ② 始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。

